

あぐはらのまき
神泉 阿久原牧



日程…R4. 4. 4(月)
11(月)

行先…旧神泉村

集合場所…10時
『ステラ神泉』

食事処…天神茶屋(譲原)

案内人…NPO法人
本庄ファンクラブ
理事 今井玲子

スタッフ…つきみ荘
倉林律雄
金子美穂

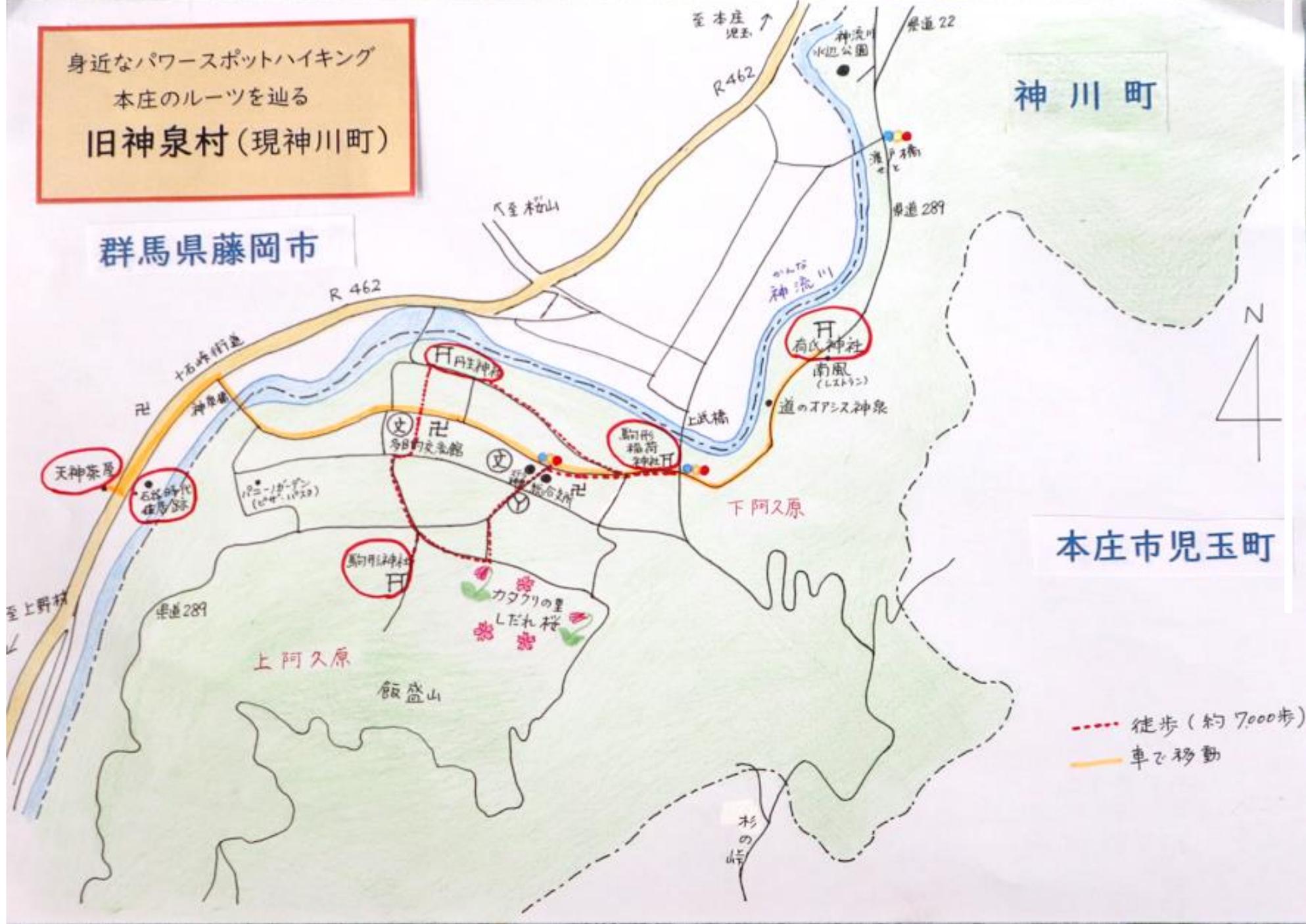
埼玉県指定旧跡

身近なパワースポットハイキング
 本庄のルーツを辿る
 旧神泉村(現神川町)

群馬県藤岡市

神川町

本庄市見玉町



--- 徒歩(約7000歩)
 --- 車で移動



神泉の沿革

昭和29年阿久原村と矢納村が合併し、両村に所在する「神山」と中世にあった「若泉荘」という荘園にちなみ『神泉』と名付けられました。

この地の歴史は古く、縄文時代の遺跡が多く出土し、阿久原地区は、朝廷の勅使牧として栄えました。矢納地区は、古い城跡や平将門伝説、そして寺院跡も多くありました。

集合場所…『ステラ神泉』

昭和43年に完成した下久保ダムにより、矢納地区の一部が水没し、人々は他地域へ転出するという事態となってしまった。ダム建設により人口が急減したため、昭和46年過疎地域の指定を受け、村際化構想や基本構想を定めて、『あふれる自然、はじける笑顔、元気わくわくかみいずみ』を村の将来像として、皆さんが努力し、協力しあって現在の神泉村を作りあげてきました。その中でも、城峰公園の「冬桜」は有名ですね。

51年間の神泉村は歴史に幕を閉じ、平成18年に神川町と合併しました。





阿久原に遠峯維行のあとを訪ねて

源 光圀

あくはら

『阿久原の牧の稻荷に鈴かけて

こま

もののふ

いななく駒にいさむ武士』

裏面の説明書き

黄門光圀郷ガ武蔵経
歴日記二元禄八年三
月十八日郷主従七人
秩父大宮ヨリ兎玉党
ノ旧蹟ヲ訪ネテ当村
名主勘兵衛方ニ止宿
ナシ僧了雲等ノ案内ニ
テ史蹟巡覧シ二十日
駒形稻荷ニ参詣ス当
社ハ延久元年三月武
蔵守兎玉惟行創立ニ
テ武蔵七党ノ尊信特
篤ク武蔵三所ノ稻荷
トシテ顕ハルル事阪東
神靈記ニ伝ウト依テ
郷ノ詠歌ヲ誌シテ史
実ヲ後世ニ遺ス
昭和十三年六月
若泉史蹟保存会

阿久原牧跡の石碑の横に、階段を上ると駒形稻荷神社があります。そこには水戸黄門がかつてこの地を訪れた時に詠まれた歌が刻まれています。これも文化財に指定されています。



駒形稻荷神社 (町指定史跡)

児玉党の祖 有道遠峯維行の創建と伝えられています。



奈良時代、馬の飼育は諸国の国司の監督下におかれ、勅使牧・官牧・近都牧の三つがありました。阿久原牧が歴史に登場するのは平安時代で、933年の太政官符に載っています。

隣の石田牧と合わせて勅使牧となり、20頭の馬を天皇に納めなければなりませんでした。そのためにも、牧草がよく育ち、河原で水を飲ませたり、体を洗ったりできたこの場所は大変便利なところだったでしょう。夏は涼しい北向きのなだらかな斜面を使い、冬は南側の暖かい日当たりのよい住居野で育てられました。今でも、牧場のいろいろな世話をした政所・馬場・馬出(馬を訓練した所)・立野・門野・番場(馬が逃げないように見張る所)などが地名となって残っています。

神社から臨む旧神泉村の現在の風景



早春に咲き誇る『さんしゅゆ』の花



秋の名残りの栗



阿諏訪社

丹生神社

たんしょう

丹生神社

永正年間（一五〇四〜二〇）以前に創立したといわれています。
造宮・修繕などの際の、永正一七年・天正六年・天正十七年の棟札が現存しています。古くは阿須訪大明神・阿諏訪丹生大明神といわれていました。

ご祭神

たかお

・高竈神

みずはのめ

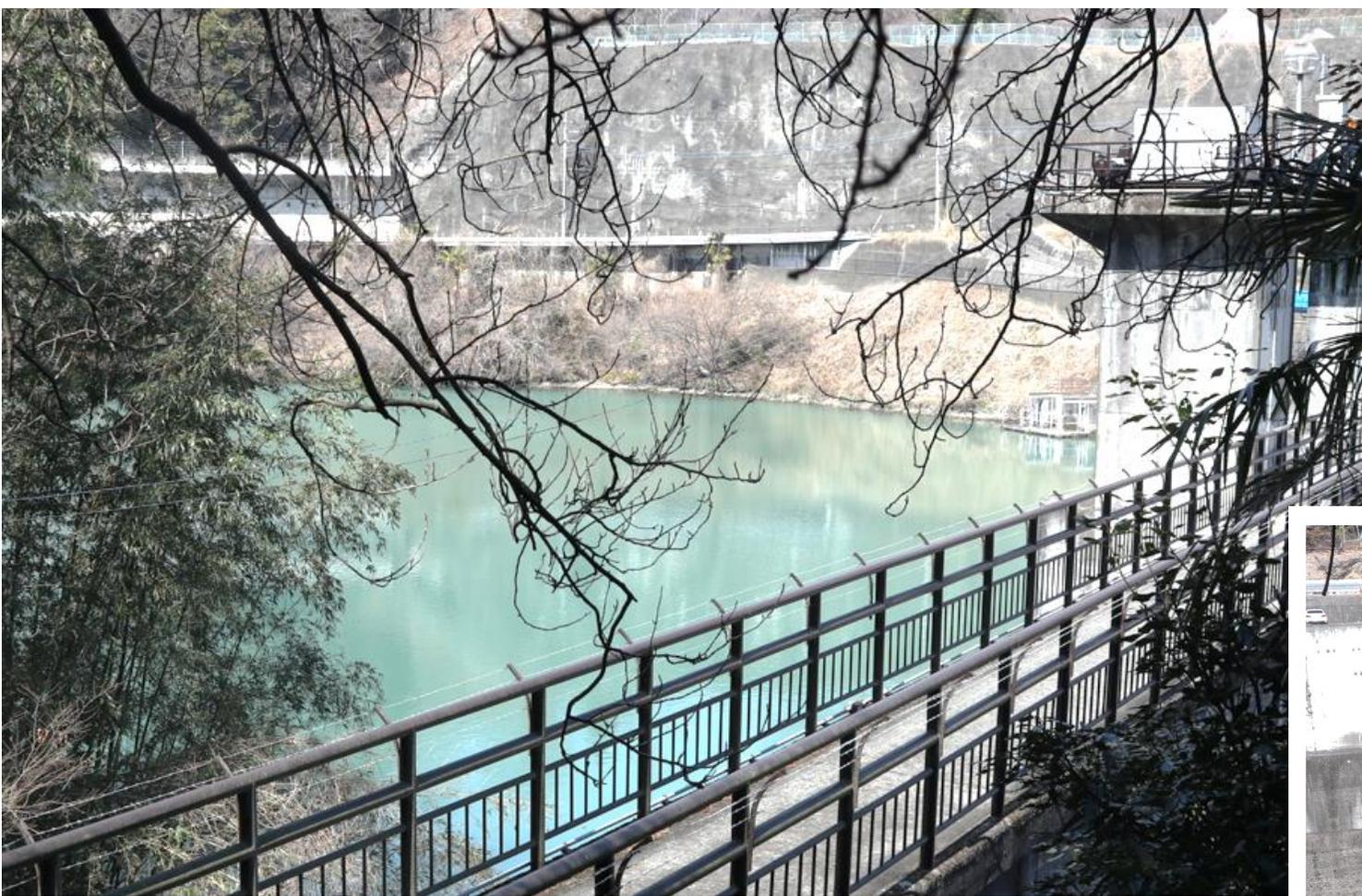
・水速女神

共に水を司る神様



神社のすぐ裏は神流川

神流川・下久保ダム(神流湖)の真ん中が県境です。手前が埼玉県、川向うは群馬県です。



下久保ダム 逆調整池

水がとてもきれいなエメラルド色。

橋の向こうは群馬県鬼石町。
鬼石から散歩に来られるご夫婦に会いました。





この花は
阿久原環境保全協議会
で植えました





元の神泉中学校、文化財保護課の方に説明していただきました。
地元の方々の憩いの場です。
一室に縄文・弥生時代の土器など出土品が展示されています。

トイレ休憩



手前の可愛らしい山が『飯盛山』

飯盛山の右下あたりにこれから行く、
駒形神社があります。



雨が降ると飯盛山の後ろは霧が巻いて景色が違います。



「かたくりの里」方面へ進みます。

次に二股に分かれ、この標識が
ガードレールにくくりつけてあります。



駒形神社

『阿久原牧陞』

昭和十二年に阿久原牧が埼玉県指定史跡になり、若泉村史蹟保存会の方々により石碑が建てられました。文章は金鑽宮守氏によるものです。後に阿久原牧は指定史跡から指定旧蹟に変更されました。

県指定史跡とは、歴史上、学術上価値の高いもので、旧蹟はそれに準ずるものです。





陽が当たると、花弁が開きます。
花言葉は、「初恋」「寂しさに耐える」
神泉の村の花で、村の木は冬桜です。



かたくりの花です。これが片栗粉の原料です。
昔は「かたかご」と呼び、かごが傾いているように見えるということのようです。それがのちに縮まって「かたこ」となり、ユリ科植物なので「かたこゆり」、そして「かたくり」になったという説もあります。
今はかたくりの群生が減ってしまったので、かたくりの根茎に似た性質のじゃがいもで片栗粉は作られています。
カタクリの花は種が根付いてから7年かかり、花を咲かせるのは7回程度、およそ14年で果ててしまいます。

『カタクリの里』

雨の日の撮影なので、花が下を向いていますが、山の斜面にびっしり満開です。





春はいいですねえ

八重桜も咲き始め、
枝垂桜は来週が見頃かな。

『カタクリの里』を枝垂
桜とうまく組み合わせ、
みごたえがあります。





鬼石方面



山の向こう側は見玉町稲沢あたり



こちらの右の山は本庄市で一番高い横隅山(よこがいさん593.6m、でも頂上は神川ですが)。杉の峠を抜けると見玉町太駄に出ます。



お食事処 『天神茶屋』 譲原店

お出迎えの人形たち



昼食はおすすめの「天ざるそば」¥1000
を頂きました。

五目ごはんつき天ざるそば ¥1,150

季節の天ぷら にわとこ
かきあげ



天ざるそば ¥1,000

季節の天ぷら(三品)

にわとこ
かぼちゃ
かきあげ

天神茶屋のすぐ前で、
旧譲原小学校の工事
中に発見されました。
炉の跡がみつき、縄
文時代後期から晩期
のものです。

国指定史跡
譲原石器時代住居跡



後にこのあたりは、見玉
党真下氏の支配下で、
真下城がありました。

下久保ダムの神流湖



中央に見える機械は、湖底に積もった土砂を取り除いています。



ありうじ

有氏神社

ありかんしゅありみちこれゆき

祭神…武蔵守有貫主有道維行

有氏とは有道氏の転語で、祭神名をあらわしています。



明治二六年に書かれた碑文です。

天下の実力は関東にあり、関東の実力は武蔵七党にあり、見玉党は最強である。阿久原は見玉党発祥の地であり、下阿久原字秩父瀬に祠あり。有氏明神といい、村民は昔より毎年祭っている。……



有道氏の祖廟

武蔵野の開拓者、さらには、関東武士の元祖、として
勇名を馳せた見玉党の開祖である有道一族の祖廟は、
詳らかでない。しかれども、有道維行が朝廷の命により
長官を勤めた阿久原の牧近くには、有道氏を祭る有氏明
神があり、古くより地域の住民によりお祀りされている。
日本古来の宗教観では、先祖霊や特別な功績を上げ尊
敬される人々の霊を人格神として祭るのが自然である。
阿久原地区には、古くより、「有氏明神に隣接した北
の位置にありし古い石塔を東北に移転した際に、人骨が
発掘されこれは阿久原牧時代の有道氏一族の墓であろう」
との言い伝えがあり、しかも、「有氏明神には御神体が存
在しない」等のことより、有氏明神は、有道氏一族の霊域
(墓地) に祠を建て、祭り始めたものであり、古くは霊域
の重要な位置を占めたと推定される有氏明神に隣接した
東北部の畑の中にある古石塔(地下に眠る遺骨)こそ有氏
明神の御神体であるとの説がある。この石塔は、見玉党
もしくは近在の有道氏一族の関係者によって、室町時代
後期から江戸時代初期の間に建立されたものと推定され
るが、品格の高い見事を石塔である。
今回、古石塔及び周辺土地の管理者であり、長年に渡
り秩父瀬地域住民の中心となって有氏明神をお祀りして
きた見玉党の流れを汲む見家二十一代当主新一氏のこ
そ力により、古石塔が整備復元されたことは、維行生誕
千年を迎えるに当たり、誠に意味有るものと言えよう。
今後、見玉党並びに有道氏に関係する方々はもとより、
その恩恵を受けている地域の方々には、時に参拝し、武蔵
野の開拓と土地生産性に基盤を置いた武家政治の確立に
貢献した先祖の方々の往時を偲び、明日への活力として
頂ければ幸いである。
平成十四年正月
見玉党系裔
記

ありみちこだまこれゆき

有道遠峯維行

生誕：不明

死没：一〇六九年八月

官営牧場の管理者として京都より
赴任

任務終了後も見玉郡にとどまり、
在地豪族となつて、武蔵国最大規
模の武士団見玉党の党祖となる。

維行の嫡男の弘行は後三年の役に
参戦している。

三代目見玉家行以後、本宗家は庄
氏を名乗る。本拠地を栗崎に移す。

直系は六代目庄小太郎頼家が源
平合戦により戦死、分家によって継
がれていく。

頼家の弟、本庄氏が見玉党本宗家
となる。

維行の嫡流たちが、九郷用水流域
に居住し、その地名を名字とす
る。それぞれ金鑽神社を祀ってい
る。

本庄見玉の他にも、秩父郡や上野
国の鏑川、烏川、井野川流域など
に移住したと伝えられる。





大字下阿久原地内

裸祭り

武蔵七党児玉党の祖有道維行を祀るといわれている有氏神社で11月19日に行われる盤台祭りは、裸祭りともいわれる珍しい祭りです。白ふんどし姿になった氏子が、赤飯の入った盤台を高々と持ち上げ、「上げろ、下げろ」の掛け声に合わせて、もみあいながら盤台を上下させ、盤台の中の赤飯を四方にまきます。この赤飯を食べると、その年の厄払いができるとも、お産が軽くすむともいわれています。



4月4日(月)



花冷えだけど、みんな元気に出発!

多目的交流会館にて

文化財保護課の金子様より神泉のお話



神泉は縄文・弥生時代の遺跡はありますが、古墳時代の古墳が今のところ見つかっていません。



駒形神社へ続くこの道だけがゆるやかな
上りです。



どこを歩いてても桜があちこちに咲いています。
丁度満開、見事です。





しだれ桜は6分咲きといったところでしょいか。





食事の後にちょっと解説

「見玉党」とは……

本庄見玉に繋がっているんですよ～
平家物語にでてくるんですよ。歴史上の大きな
出来事がとっても身近に感じられたと思います。



一同注目
へえー、そうなんだー

ありうじ
最後に『有氏神社』に寄りました。

一般的な神社とは違い、紋が軍扇
で、これは見玉党の紋です。



今日は一日雨だったので、コースを一部変更しました。
13:50に終了、解散。約6000歩。

お疲れ様でした。

4月11日(月)















『カタクリの里』に、やまつつじが
咲き始めました。



4月11日 撮影

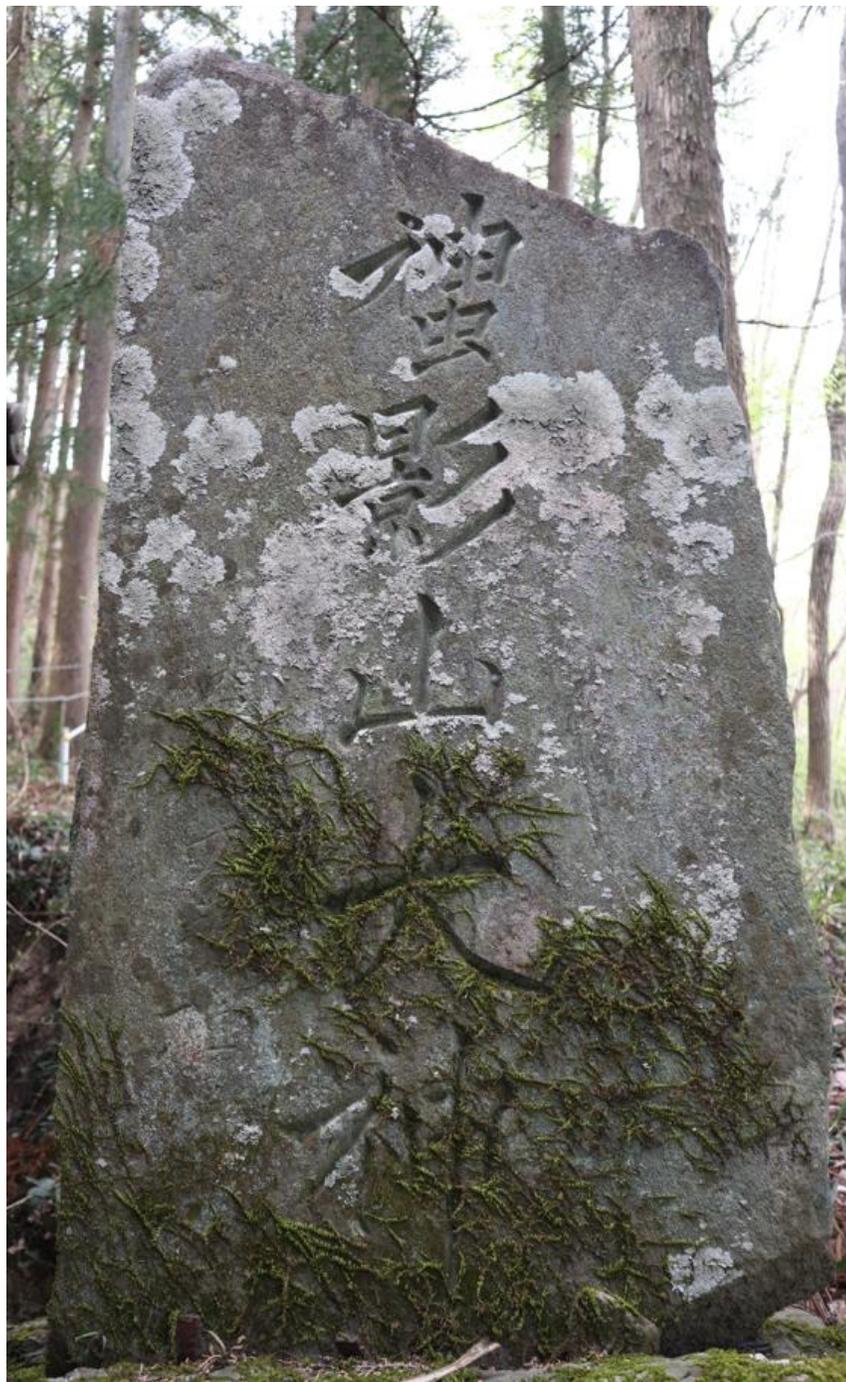


黄色のやまぶき

紫の大根の花



一週間の間にすっかり模様替え。
かたくりの花が終わって、やまぶきや大根の花が満開。



カタクリの里に八王子神社があり、境内社に蚕影山神社があります。
蚕という文字は天の虫と書きますが、蠶とか蚕と書くこともあり、こ
こは神の虫なんです。





有氏神社に到着。ここが本日最後の目的地。

あめ玉なめて、ひと休み。





おしまい

By 今井玲子